

新しい政治を はじめよう

<https://ishimaru-shinji.com/>

<https://www.facebook.com/ishimaru1982/>

Twitter: @shinji_ishimaru

●プロフィール (いしまる しんじ) 1982年8月12日、
吉田町生まれ。吉田小学校、吉田中学校、広島県立祇園北高
等学校を経て、京都大学経済学部を卒業。2006年に三菱
UFJ銀行へ入社。経済を分析・予測する専門家(アナリスト)
として従事。アナリストの初代ニューヨーク駐在となり、4年半
にわたってアメリカ大陸の主要9カ国25都市で活動。



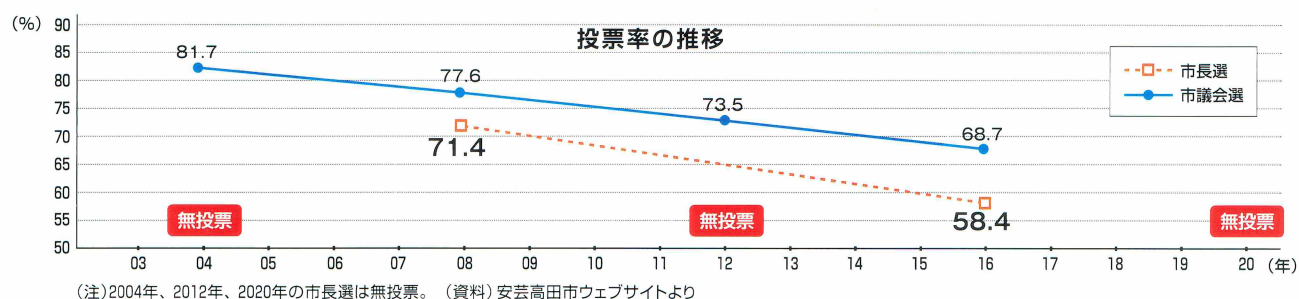
市長候補 石丸伸二 37歳
いしまる しんじ

「この先も世界で一番住みたい」 と思えるまちへ

① 政治再建 政治の「わかる化」

「政治への無関心」は日本の大きな問題として指摘されますが、安芸高田市も例外ではありません。近年の選挙は低い投票率が続いており、「政治に興味がない → 政治が機能しない → 政治に興味がない → …」

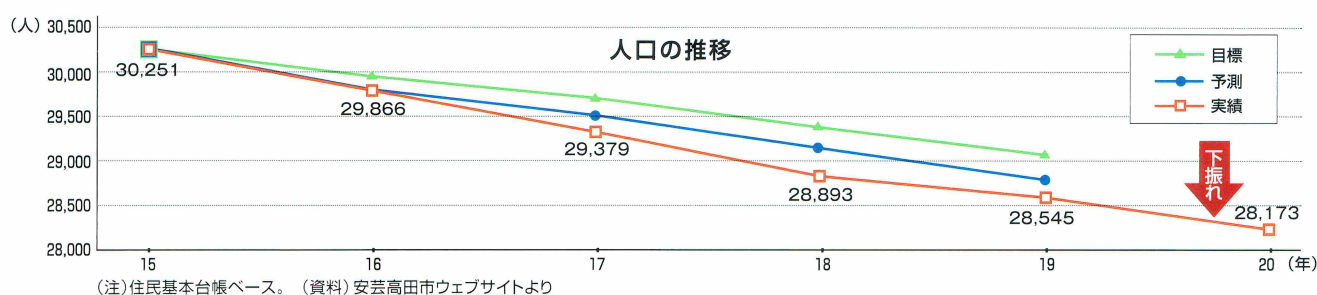
という悪循環が生じています。そこで、政治に少しでも興味を持てるよう、政策決定の背景や工程などを市民の皆さんが「わかりやすい」ように公表していきます。特に、若年層や女性に対しては個別に説明や意見交換の場を提供し、一層の政治参加を促す仕組みを設ける必要があります。市民の関心によって、政治に緊張感が生まれます。そうして初めて、「法令等の遵守(コンプライアンス)」が市政に根付き、健全な行政の運営が可能になると考えます。



② 都市開発 将来を見据えた投資

この5年間で人口は約2千人も減少しました。「人口減少に歯止めをかける」として2015年に設定した目標は達成できておらず、それどころか当初の予測よりも人口減少は進んでいます。人口問題への対策はも

ちろんですが、従来の楽観的な見込みに基づいた種々の政策を併せて見直さなければなりません。「田んぼアート」や「神楽門前湯治村」といった観光事業、芸備線を始めとする公共交通機関、病院などの医療・福祉施設については、早急に将来にわたる採算性の再検証が必要です。また、喫緊の課題である防災の観点では、土砂災害や洪水の危険に晒されたままとなっている避難場所の見直しなども求められます。限りある予算を必要な投資へ振り向け、持続可能な「まちづくり」を行っていきます。



③ 産業創出 リモートを活かした人材の確保

持続可能な社会の実現には、今の子どもたちが、このまちで学び、仕事に就き、まちを支えていける基盤作りが必要です。IT(情報技術)の活用は久しく謳われてきましたが、この度の新型コロナ禍を受けて学び方も

働き方もようやく根本から変わろうとしています。リモート(遠隔地での活動)によって、すでに市内でも教育や就労の選択肢は格段に増えました。この好機を逃すことなく、人材を外から呼び込み、内で育てる環境の整備を進めていかなければなりません。新たな産業を生み出す素地として、まずは人材の確保に注力していきます。

石丸伸二後援会事務所

〒731-0501 安芸高田市吉田町吉田 3782-8 TEL.0826-42-1961 FAX.0826-42-1962